



2019
4月号
No.23

女性の元気が未来を築く 金沢商工会議所女性会 ニュースレター

[事務局]金沢商工会議所 金沢市尾山町9番13号 Tel.076(263)1152 ✉kaiin@kanazawa-cci.or.jp

3月のトピック 2019.3.7 金沢商工会議所女性経営塾開催 於：金沢商工会議所会館 貴方と一緒に働きたい！と思ってもらうには。

脳の仕組みを理解し、一緒に働きたいと思われる人物像に近づくための脳活用法を習得

人手不足が深刻な昨今、社員にいかにかに定着してもらうかは企業の大きなテーマのひとつとなっている。こうした現状をふまえ、人財教育家・メンタルコーチの飯山 暁朗 氏をお招きして研修会を開催し、非会員含め45名が参加した。

“ワクワク”しながらチャレンジを

研修委員会委員長 藤井 佳代子

今回の講師である飯山氏は、スピードスケートの高木菜那選手や競泳の小堀勇氣選手、星稜高校野球部をはじめ、多くのスポーツ選手のメンタルコーチをされています。

研修冒頭、2014年の石川県大会において、星稜高校が9回裏0-8から、奇跡の大逆転で甲子園への切符を勝ち取った際の映像を流され、研修会場は一気に感動と何が球児に奇跡を起こさせたのか、気になって仕方がないという雰囲気になりました。

人の脳は誰でも同じ機能を持っているが、個々の潜在意識の中で、過去にできたこと、できなかったことの記憶から、できる、できないを決めており、その目標の高さも、個々で決めているそうです。すなわち、目標の壁を高くするのも、低くするのも自分ということです。

例えば、高木菜那選手は、「世界一小さい自分が世界のトップになる」を目標に、平昌五輪で2個の金メダルを獲得しました。また、星稜高校の岩下大輝選手は、一年生の時、「将来、プロ野球選手になれると思う人」の質問に、チーム内で唯一手を挙げ、見事、千葉ロッテマリーンズに入団し

ました。成功したからワクワクするのではなく、ワクワクしながらチャレンジしたから成功したのです。

思いや経験は脳にインプットされると、言葉や動作、表情に出力されます。言葉は“言霊”となり、プラスはプラスにマイナスはマイナスとして現れます。

自分の思いは、すべて自分の脳内で楽しいか、楽しくないかに振り分けられ、その行動が結果となります。他人や環境のせい決められるわけではありません。つまり、何ごとも誰かを喜ばせようと自分自身がワクワク楽しみながら目標に向かうことが、継続となり成功するということです。

今回、周りの人から一緒に働きたいと思ってもらうためには、まずは自分の考え方や言葉、動作をプラスにすることだと学びました。そうすれば、仕事もプラスの結果となり、ワクワクしている姿に人がついてくると気付かされました。これからは笑顔だけは絶やさず、ポジティブにがんばろうと思いました。

今回の研修会が、参加者皆様の今後のご活躍に活かされますことを願っております。

前列、右から3番目 藤井委員長

